

# 【大淀川・小丸川水系】流域治水の具体的な取組内容の共有

国土交通省 .....P4～P14

- ・気候変動を踏まえた「大淀川水系河川整備基本方針」変更の概要
- ・大岩田遊水地整備事業
- ・大淀川上流内水対策検討会
- ・大淀川上流水害対策検討会
- ・宮崎市流域治水勉強会
- ・高鍋町流域治水勉強会の開催
- ・NPOや関係機関と連携したシンポジウムの開催
- ・流出抑制対策の検討(雨水浸透施設等)
- ・自治体職員向け勉強会

林野庁(宮崎森林管理署) .....P15～P16

- ・河川上流域(国有林)における森林整備・治山対策

林野庁(西都児湯森林管理署) .....P17～P18

- ・河川上流域(国有林)における森林整備・治山対策

宮崎県 .....P19～P26

- 大淀川水系
  - ・河川整備(樹木伐採・河道掘削)
  - ・公園における流出抑制対策(宮崎県総合文化公園)
  - ・河川上流域(民有林)における森林整備・治山対策
  - ・農業用ため池の整備
  - ・いのちとくらしを守る土砂災害対策
- 小丸川水系
  - ・河川上流域(民有林)における森林整備・治山対策
  - ・土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化

## 【大淀川・小丸川水系】流域治水の具体的な取組内容の共有

鹿児島県	.....P27～P28
	・河川整備(築堤・護岸整備・河道掘削)
宮崎市	.....P29～P30
	・内水ハザードマップ作成を踏まえた雨水出水浸水想定区域図の作成
都城市	.....P31～P35
	・内水被害軽減対策 雨水バイパス管整備 可搬式ポンプ設置
	・流出抑制対策 雨水貯留タンク設置補助制度創設 ため池事前放流や田んぼダム推進 雨水浸透施設の設置推進
	・その他対策 雨水出水浸水想定区域の指定 立地適正化計画の見直し 浸水センサーによる浸水情報把握
日向市	.....P36～P38
	・河道に支障となる草木や堆積土砂等の撤去 ・河川パトロールによる水災害リスク情報の把握

## 【大淀川・小丸川水系】流域治水の具体的な取組内容の共有

高鍋町	.....P39～P41
	・小丸川宮越地区総合内水対策計画における高鍋町の実施
	・雨水地下貯留施設の事例紹介
森林整備センター	.....P42～P44
	・水源林造成事業による森林の整備・保全

## 流域治水の取組内容

# 国土交通省 宮崎河川国道事務所

- 気候変動を踏まえた「大淀川水系河川整備基本方針」変更の概要
- 大岩田遊水地整備事業
- 大淀川上流内水対策検討会
- 大淀川上流流域水害対策検討会の開催
- 宮崎市流域治水勉強会
- 高鍋町流域治水勉強会の開催
- NPOや関係機関と連携したシンポジウムの開催
- 流出抑制対策の検討(雨水浸透施設等)
- 自治体職員向け勉強会

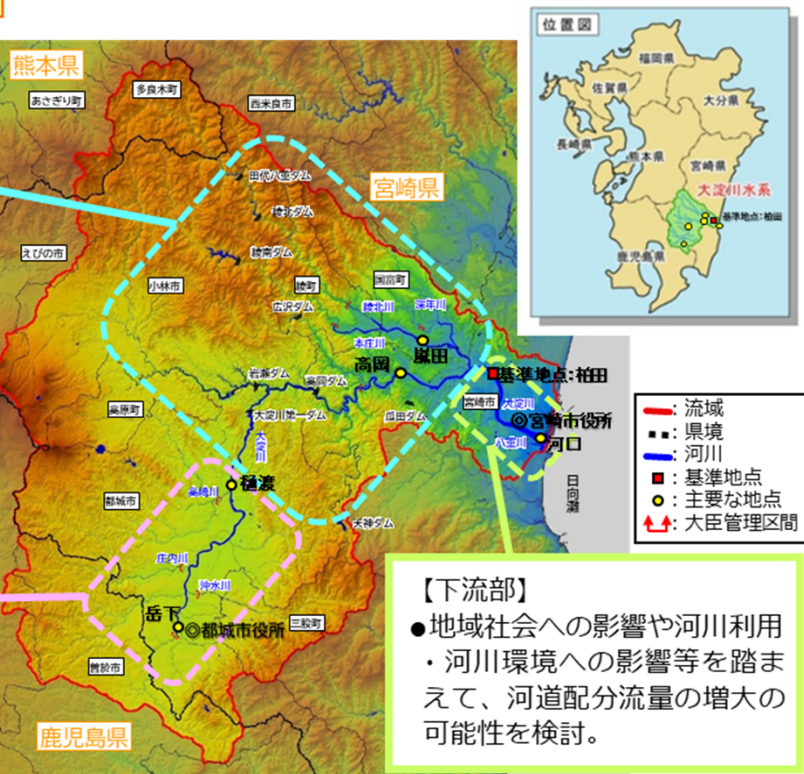
# 大淀川河川整備基本方針策定

新規

- 長期的な河川整備の目標となる洪水（基本高水）のピーク流量を、基準地柏田において11,700m<sup>3</sup>/sから13,400m<sup>3</sup>/sに変更し、基本高水の流量を河道と洪水調節施設等に配分。
- 気候変動の影響による洪水外力増大に対し、既存施設の有効活用など貯留・遊水機能の確保、河川環境・河川利用や地域社会への影響等を総合的に勘案して検討し、基準地点柏田にて、河道配分流量を9,700m<sup>3</sup>/s、洪水調節流量を3,700m<sup>3</sup>/sとした。
- 利水ダム等による事前放流、森林の整備・治山対策や農業用ため池の整備、雨水貯留機能施設の整備等、流域治水の取組の更なる推進を図る。

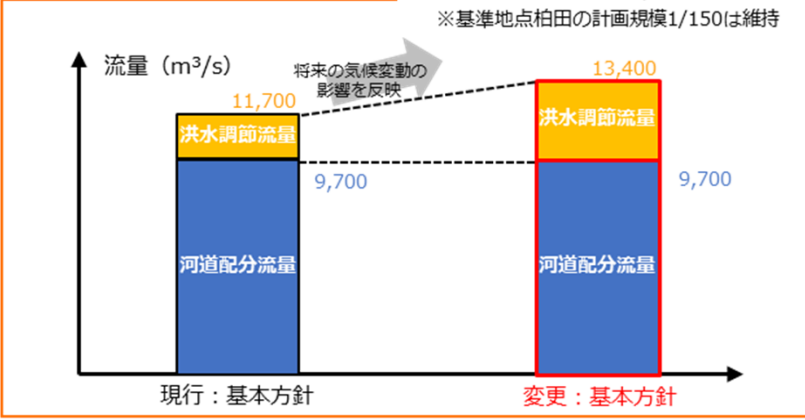
## 河道と洪水調節施設等の設定の考え方

- 【中流部】**
- 地域社会への影響や河川利用・河川環境への影響等を踏まえて、河道配分流量の増大の可能性を検討。
  - 支川も含めて既存ダムの有効活用や新たな貯留・遊水機能の確保の可能性等を検討。
- 【上流部】**
- 地域社会への影響や河川利用・河川環境への影響等を踏まえて、河道配分流量の増大の可能性を検討。
  - 支川も含めて新たな貯留・遊水機能の確保の可能性等を検討。

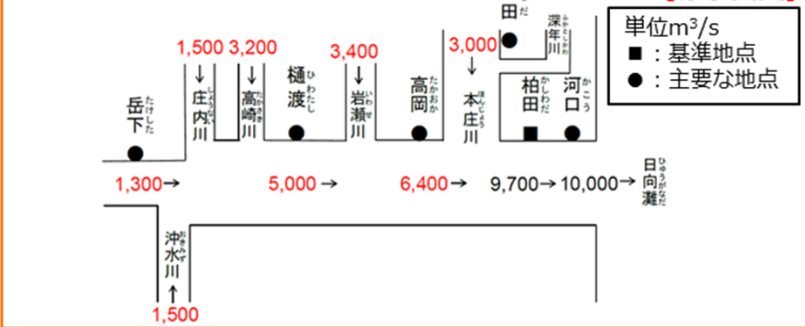


- 【下流部】**
- 地域社会への影響や河川利用・河川環境への影響等を踏まえて、河道配分流量の増大の可能性を検討。

## 河道と洪水調節施設等の配分流量

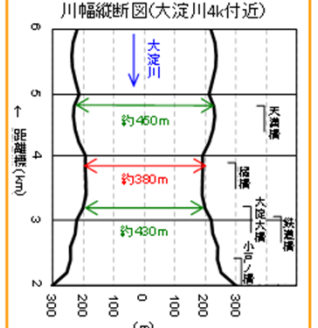


## 計画高水流量図



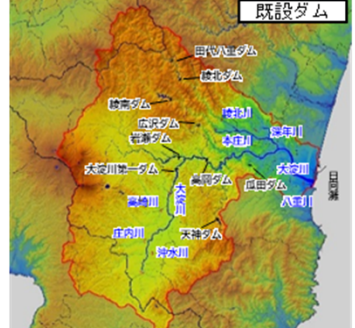
## 河道での対応

- 河口から約4kmの位置にある橋橋付近は、川幅が狭く流下能力が不足している。
- 両岸の背後地にマンション、ホテル群等が密集し、複数の橋梁架け替えも伴うため、引堤による河道配分流量の増大は社会的な影響が大きいことから河道配分流量を柏田地点9,700m<sup>3</sup>/sとする。



## 洪水調節施設等での対応

- 既存施設の有効活用や新たな貯留・遊水機能の確保により、洪水調節流量を3,700m<sup>3</sup>/sとする。
- 支川においても、既存施設の有効活用や新たな貯留・遊水機能の確保の可能性を検討し、流域一体となって取り組む。



# 大岩田遊水地整備事業

更新

- 大淀川と萩原川の合流する場所に「遊水地」を整備中。
- 洪水時に遊水地で洪水をため込み、下流の水位低下を図る。
- 令和6年12月に着工式を開催し、本格着手。引き続き、遊水地内の掘削等実施。
- 令和7年度は遊水地内の掘削と低水護岸の施工を実施。



## R7年度工事状況



# 大淀川上流内水対策検討会

○令和4年9月に発生した台風14号に伴う記録的な降雨により、都城市下川東地区において甚大な内水被害が発生。家屋の浸水被害軽減に向けた今後の対応方針を決定するため、専門的な知識を有する学識者及び国・県・市において「令和4年9月台風14号大淀川上流内水対策検討会」を設置。

○国による河道掘削及び遊水地整備、樋管ゲートの無動力化等、都城市による雨水対策施設等の整備及び流域治水の考え方を取り入れた流出抑制対策等のハード対策のほか、ソフト対策、維持管理、災害時の支援などを盛り込んだ「今後の対応方針」を令和5年3月に策定・公表。

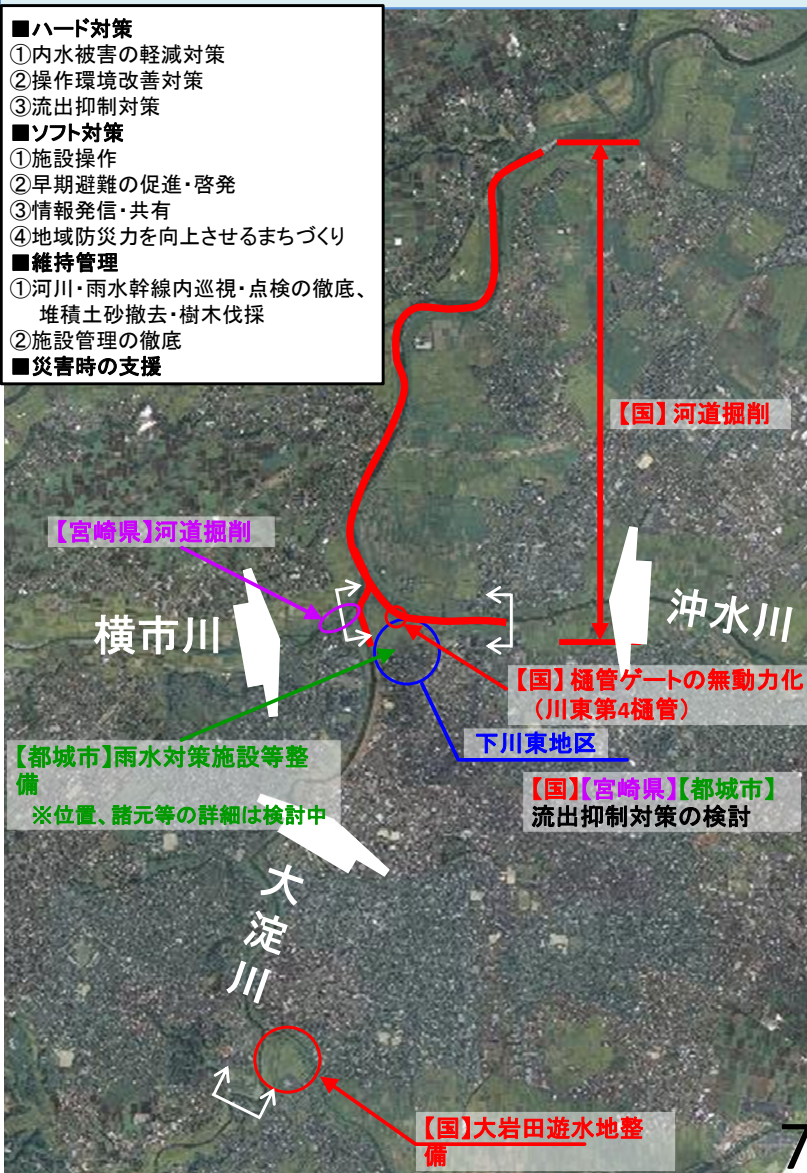
令和4年台風14号による実績浸水状況（都城市下川東地区）



浸水被害の状況



今後の対応事例



検討会の委員

氏名(委員)	所属・役職
杉尾 哲	宮崎大学 名誉教授
平岡 直樹	南九州大学 環境園芸学部 教授
松村 知樹	国土交通省 宮崎河川国道事務所長
山浦 弘志	宮崎県 県土整備部 河川課長
小牧 利一	宮崎県 都城土木事務所長
長丸 省治	都城市 総務部長
石川 清澄	都城市 農政部長
馬場 芳男	都城市 土木部長
竹下 昌治	都城市 上下水道局長

検討会の開催状況

開催日	検討会等	内容
令和4年11月28日	内水対策検討会(第1回)	・検討会立ち上げ ・出水、被害状況の共有
令和5年1月24日	内水対策検討会(第2回)	・内水被害要因の共有 ・現在実施中の対策及び今後の対策
令和5年3月17日	内水対策検討会(第3回)	・今後の対応方針



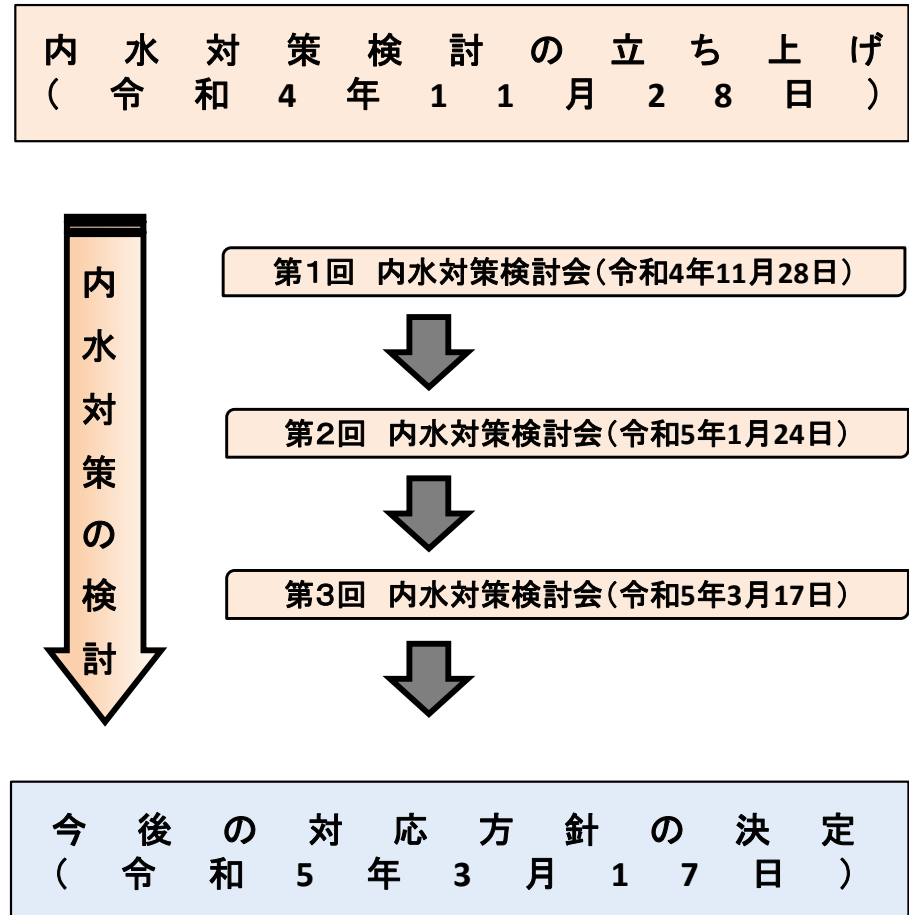
# 大淀川上流内水対策検討会作業部会～国・県・市の取組み～

更新

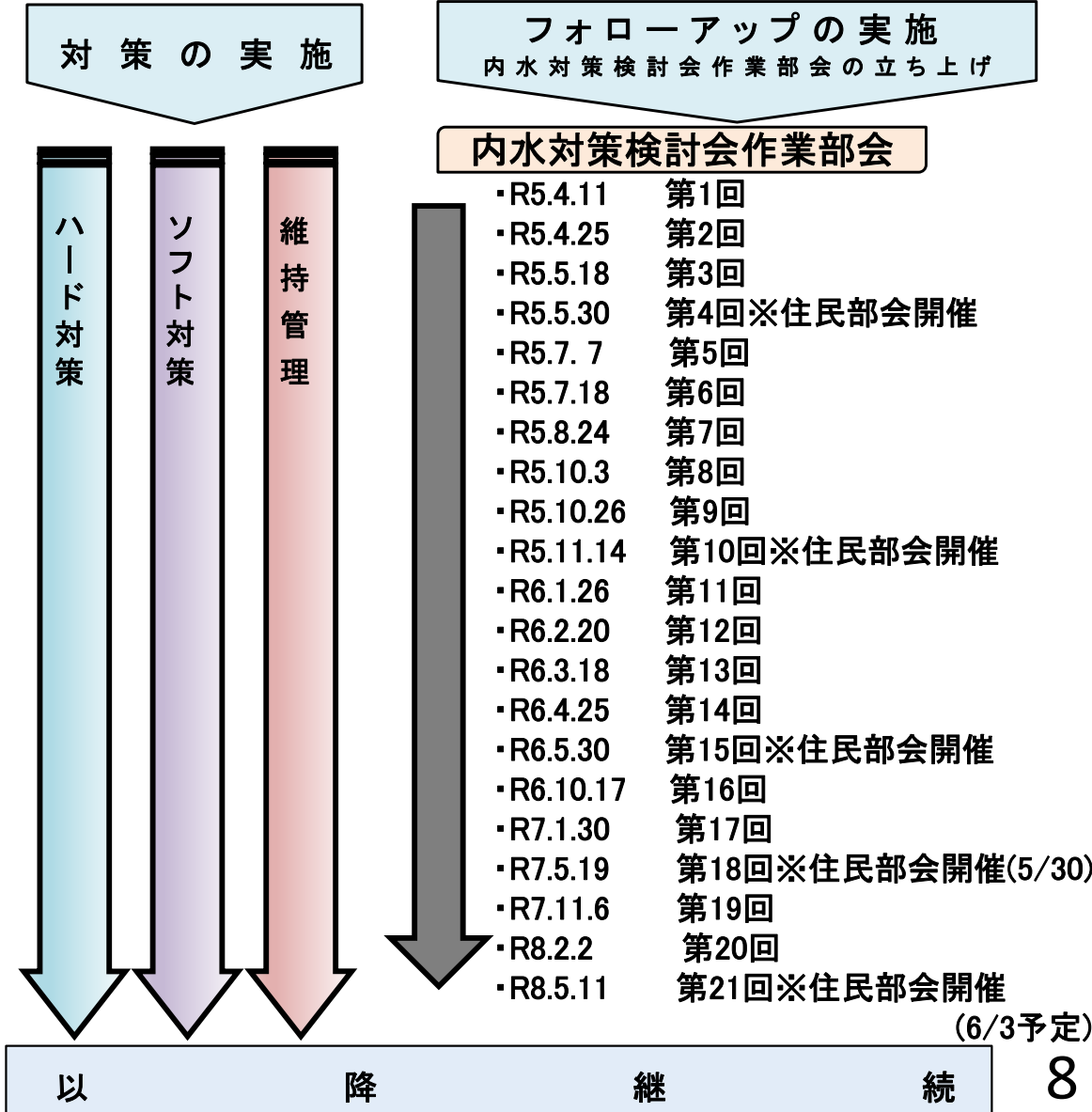
- 令和5年3月に大淀川上流における内水対策の今後の対応方針を策定
- 令和5年4月より、内水対策検討会作業部会を立ち上げ、国県市が一体となり、対応方針に基づき、各機関が調整しながら内水対策の軽減に努める

## ➤大淀川上流内水被害軽減に向けた取組み

### 《これまでの取組》



### 《令和5年度以降の取組み》



以降 継続

- 大淀川上流域において、各機関が流域治水における目標設定や具体的な方策を検討する。
- 令和7年度は2回開催している。(R6.6.27・R6.12.26・R7.3.25・R7.7.1R8.2.2)

## 1. 目的について

大淀川上流流域において、流域治水を進めるための方策を検討する。

## 2. 参加自治体等

国、宮崎県、都城市、三股町、高原町、  
鹿児島県、曾於市(事務局:国)

## 3. 検討会構成メンバー

県 : 河川、都市、農政、危機管理(本庁、土木事務所、振興局)  
市町 : 都市、農政、危機管理

## ○開催実績



実施状況(R7.7.1)



実施状況(R8.2.2)

## ○令和7年度の成果

- ・各機関における流域治水の具体的な取組内容を抽出し、検討会の中で共有した。
- ・各機関の取組内容や取組状況を情報共有することで、流域治水について意識醸成が図られている。
- ・各市町村毎に、雨水貯留施設(民間施設)や田んぼダム等の推進を進めており協力依頼を行っているが、積極的な協力が得られていない。

## 流域治水の取り組み検討項目

### I 氾濫を出来るだけ防ぐ・減らすための対策

- 集水域における対策
  - 1) 雨水貯留浸透施設(調整池・公共施設)  
校庭・公園・駐車場貯留
  - 2) 雨水貯留浸透施設(下水道)
  - 3) 雨水浸透貯留浸透施設(民間施設)
  - 4) 田んぼダム
  - 5) 用水路事前放流
  - 6) ため池活用・事前放流
  - 7) 雨水貯留タンクの普及
  - 8) 雨水浸透枘の普及
  - 9) 森林の水源涵養機能の発揮
  - 10) 貯留機能保全区域
- 河川区域内における対策
  - 1) 河道掘削・築堤・引堤・ダム・遊水地等
  - 2) 利水ダム事前放流
- 内水氾らん対策
  - 1) 排水施設・ポンプ
  - 2) その他

### II 被害対象を減少させるための対策

- ①リスクの低いエリアへ誘導、住まい方の工夫
  - 1) 立地適正化計画の策定・見直し
  - 2) 土地利用規制の設定
  - 3) 嵩上げ、移転促進

### III 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策

- ①土地のリスク情報の充実
  - 1) ハザードマップ(外水・内水)の公表
  - 2) 浸水想定区域(外水・内水)の公表
- ②被害の最小化
  - 1) 避難場所等の環境支援
  - 2) 施設の耐水化の促進
- ③避難に資する情報発信
  - 1) 情報発信手段の検討
- ⑤早期復旧に向けた取り組み
  - 1) 排水ポンプ車の整備

- 気候変動に伴い頻発・激甚化する水害等に対し、治水事業をはじめとし、集水域等において治水に取り組む流域治水を推進している。
- 宮崎市においても、平成17年を始め、平成30年、令和4年と浸水被害が発生しており、外水、内水も含め浸水被害を防止するための方策を検討する。
- 令和7年度に第1回を開催し、令和7年度は3回開催している。(R7.7.22・R7.11.5・R8.2.13)

## 流域治水の取り組み検討項目

### I 氾濫を出来るだけ防ぐ・減らすための対策

- 集水域における対策
  - 1) 雨水貯留浸透施設(調整池・公共施設)  
校庭・公園・駐車場貯留
  - 2) 雨水貯留浸透施設(下水道)
  - 3) 雨水浸透貯留浸透施設(民間施設)
  - 4) 田んぼダム
  - 5) 用水路事前放流
  - 6) ため池活用・事前放流
  - 7) 雨水貯留タンクの普及
  - 8) 雨水浸透枘の普及
  - 9) 森林の水源涵養機能の発揮
  - 10) 貯留機能保全区域
- 河川区域内における対策
  - 1) 河道掘削・築堤・引堤・ダム・遊水地等
  - 2) 利水ダム事前放流
- 内水氾らん対策
  - 1) 排水施設・ポンプ
  - 2) その他

### II 被害対象を減少させるための対策

- ①リスクの低いエリアへ誘導、住まい方の工夫
  - 1) 立地適正化計画の策定・見直し
  - 2) 土地利用規制の設定
  - 3) 嵩上げ、移転促進

### III 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策

- ①土地のリスク情報の充実
  - 1) ハザードマップ(外水・内水)の公表
  - 2) 浸水想定区域(外水・内水)の公表
- ②被害の最小化
  - 1) 避難場所等の環境支援
  - 2) 施設の耐水化の促進
- ③避難に資する情報発信
  - 1) 情報発信手段の検討
- ⑤早期復旧に向けた取り組み
  - 1) 排水ポンプ車の整備

### 1. 目的について

宮崎市において、流域治水を進めるための方策を検討する。

### 2. 参加自治体等

国、宮崎土木、中部農林振興局

宮崎市(土木課、危機管理課、都市計画課、下水道整備課、農村整備課)

(事務局:国)

### ○開催実績

#### ・第1回(R7.7.22)

勉強会の趣旨や流域治水について説明  
今後の進め方についても議論

#### ・第2回(R7.11.5)

「明久川(吉野地区)における内水被害ゼロ」、逃げ遅れゼロをテーマとし、具体的な解決策を4班に分かれて議論。  
それぞれの班から発表を行った。



実施状況(R7.7.22)



実施状況(R7.11.5)



#### ・第3回(R8.2.13)

流域治水の取り組み検討項目について、各機関毎の取り組みを共有し、意見交換を行った。

- H17年9月洪水において小丸川下流の宮越地区で家屋等の甚大な浸水被害が発生。このほか、平成9年9月、平成16年8月、平成30年9月と立て続けに浸水被害が発生していることから、国・県・町が相互に連携して「小丸川宮越地区総合内水対策計画(令和2年3月)」を策定し、ハード・ソフト一体となった浸水被害軽減対策を実施中。
- 国による排水機場整備(令和4年度完成)に合わせて、高鍋町において水害強いまちづくりの一環として、災害危険区域に関する条例を制定。今後、区域指定等を実施予定。
- 令和7年度は2回開催している。(R7.7.1R8.2.3)

## 流域治水の取り組み検討項目

### Ⅰ 氾濫を出来るだけ防ぐ・減らすための対策

- 集水域における対策
  - 1) 雨水貯留浸透施設(調整池・公共施設)  
校庭・公園・駐車場貯留
  - 2) 雨水貯留浸透施設(下水道)
  - 3) 雨水浸透貯留浸透施設(民間施設)
  - 4) 田んぼダム
  - 5) 用水路事前放流
  - 6) ため池活用・事前放流
  - 7) 雨水貯留タンクの普及
  - 8) 雨水浸透枘の普及
  - 9) 森林の水源涵養機能の発揮
  - 10) 貯留機能保全区域
- 河川区域内における対策
  - 1) 河道掘削・築堤・引堤・ダム・遊水地等
  - 2) 利水ダム事前放流
- 内水氾らん対策
  - 1) 排水施設・ポンプ(河川)
  - 2) 排水施設・ポンプ(下水道)

### Ⅱ 被害対象を減少させるための対策

- ①リスクの低いエリアへ誘導、住まい方の工夫
  - 1) 立地適正化計画の策定・見直し
  - 2) 土地利用規制の設定
  - 3) 嵩上げ、移転促進

### Ⅲ 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策

- ①土地のリスク情報の充実
  - 1) ハザードマップ(外水・内水)の公表
  - 2) 浸水想定区域(外水・内水)の公表
- ②被害の最小化
  - 1) 避難場所等の環境支援
  - 2) 施設の耐水化の促進
- ③避難に資する情報発信
  - 1) 情報発信手段の検討
- ⑤早期復旧に向けた取り組み
  - 1) 排水ポンプ車の整備

1. 目的について  
高鍋町において、流域治水を進めるための方策を検討する。
2. 参加自治体等  
国、高鍋土木、児湯農林、高鍋町(事務局:国)

### ○開催実績



実施状況(R7.7.1)



実施状況(R8.2.3)

- 令和7年度の成果
  - ・各機関における流域治水の具体的な取組内容を抽出し、検討会の中で共有した。
  - ・各機関の取組内容や取組状況を情報共有することで、流域治水について意識醸成が図られている。
  - ・各市町村毎に、雨水貯留施設(民間施設)や田んぼダム等の推進を進めており協力依頼を行っているが、積極的な協力は得られていない。
  - ・田んぼダムについては試験的に実施している。(児湯農林)



# NPOや関係機関と連携したシンポジウムの開催

■令和4年台風14号時に発生した都城市内の内水氾濫を教訓に、流域のみんなで雨水を上手に貯めることで被害を減らすさまざまな事例を紹介し、流域治水を理解してもらうとともに、豪雨被害を減らすために、流域住民の皆様と一緒に考えることを目的としたシンポジウムをNPOと国県市が連携し開催。

## 概要

日時：令和7年8月31日(日)  
 9:30~11:30  
 会場：南九州大学 都城キャンパス  
 参加者数：102人（地域住民や行政職員等）



## みんなで取り組む流域治水 『豪雨被害を減らすシンポジウム』開催のご案内

ここ数年、よく耳にする豪雨災害。非常に強い雨が降り続けると、堤防から川の水があふれる洪水氾濫や多量の雨水が地上にたまる内水氾濫を引き起こしてしまう可能性があります。これらの氾濫については、流域のさまざまな関係者が協働して取り組みを推進すると、被害を軽減させることができます。流域のみんなで雨水を上手に貯めることで被害を減らすさまざまな取り組みを紹介し、安全な生活を送るための方策について、流域住民の皆様と一緒に考えることを目的に、シンポジウムを開催します。

開催日時：令和7年7月27日(日) 9:30~11:30 受付:9:00~  
 会場：南九州大学 都城キャンパス 1号館 1101講義室  
 (都城市立野町 3764-1)



- プログラム**
- ◆講演
    - ・気候変動と降水量の関係
    - ・流域治水と大岩田遊水地の役割
    - ・流域治水に関する県の取組について
    - ・都城市における雨水貯留施設の取組み
    - ・雨水貯留タンク、その後！
  - ◆質疑応答
- 高松政美（宮崎地方気象台 防災管理官）  
 山崎幸栄（宮崎河川国道事務所 流域治水課長）  
 四位和久（宮崎県 河川課長補佐）  
 日高健一郎（都城市 下水道課長）  
 宇都年文（都城大淀川サミット 理事長）

**申込方法** 必要事項を記入して、下記のお問合せ先まで、申込フォーム・メール・郵便でお送り下さい。学生の希望者には参加証明書をお渡しします。参加申込書（締切：7月25日 必着）

氏名			
職業または学校名			
参加証明書の希望	要	不要	(どちらかに○を付けて下さい)
連絡先			

※申込書に記入された個人情報は、本シンポジウムの連絡用に限定して使用します。

**お問い合わせ先** 申込フォーム  
 NPO法人 大淀川流域ネットワーク 〒880-0013 宮崎市松橋1丁目36 小松排水機場内  
 TEL:0985-78-2655 FAX:0985-48-8233 メール:info@oyodo-river.org  
 主催：河川協力団体 NPO 法人大淀川流域ネットワーク・NPO 法人都城大淀川サミット  
 共催：宮崎河川国道事務所・宮崎地方気象台・宮崎県・都城市（申請中を含む）



## 【流域治水シンポジウム開催実績】

開催日時	開催場所
令和5年7月29日（土）	都城市
令和6年6月 1日（土）	宮崎市
令和7年8月31日（日）	都城市



宮崎県による流域治水模型の展示



宮崎河川国道事務所による流域治水の取組事例（雨水貯留タンク）の展示

# 流出抑制対策の検討(雨水浸透施設等)

- 流域住民を対象に、流域治水を理解促進を促すため、国の施設に雨水貯留タンクを設置。
- 溜まった水はパトロールカーの洗車などに利用するなどPR。

宮崎河川国道事務所



**個人でもできること (雨水貯留浸透施設の例)**

地面がコンクリートやアスファルトでおおわれていると、降った雨は土の中にしみこまず地表を流れていきます。それが川に流れ込むと川の水位が上がって、川が溢れる危険があります。それを防ぐため、家に雨水タンクや雨水浸透ますを設置したり、雨水を地中にしみこませる施設や一時的に溜める施設を作ることも重要になっています。

**個人でもできること** 雨水タンクや雨水浸透ますを設置したり、雨水を地中にしみこませる施設や一時的に溜める施設を作ることも重要になっています。

**雨水タンク** 住宅に降った雨水をタンクなどにためる

**雨水浸透ます** 住宅に降った雨水を地中にしみこませる

**雨水貯留タンク** 雨水を地中にしみこませる

目的用途は、水やり、洗濯をはじめとした日常的な利用や非常時の水源としても役立てることができます。

玄関に飾り  
流域治水をアピール!

都城出張所



宮崎出張所



高鍋出張所



～流域治水～個人でもできること

## 雨水貯留タンク

住宅にも設置でき、  
私たちが取組める水害対策のひとつです。

今ある雨どいにタンクを接続すれば、その日から雨を貯めることができます。タンクはホームセンターで購入できる材料で手作りも可能です。

宮崎出張所はココに設置してます

貯めた雨水は、水やり、洗濯をはじめとした日常的な利用や非常時の水源としても役立てることができます。

# 流域治水の取り組み～自治体職員向け勉強会を開催～

- 流域治水の推進には、自治体の主体的な取り組みが必要不可欠。
- 宮崎県内自治体職員を対象に宮崎河川国道事務所職員が流域治水の考え方等を整理した勉強会を開催。
- みんなで取り組む流域治水に対する理解を促進するとともに、主体的な取り組みへ向けた第一歩を後押しした。

## (1) 流域治水に対する現状把握・問題意識

各自治体の危機管理部局を個別に訪問し、流域治水に対する現況（認識や取り組み）を聞き取り（主な意見）

- ・流域治水は大河川でやるもので自分たちには関係ない
  - ・流域治水は国がやるもの。引き続き、掘削や築堤を実施して欲しい
  - ・そもそも自治体が何をしたら良いかわからない
- 従来の治水事業の延長との意識が強いことが判明。みんなで取り組む流域治水の必要性や意義を改めて理解してもらう場が必要

## (2) 流域治水勉強会の開催

- (開催実績)
- |              |              |                 |
|--------------|--------------|-----------------|
| 宮崎県庁、市町村職員対象 | : R6. 5. 17  | 33名参加(流域治水勉強会)  |
| 高原町職員対象      | : R6. 9. 24  | 6名参加(流域治水勉強会)   |
| 三股町職員対象      | : R6. 9. 24  | 10名参加(空き家対策勉強会) |
| 都城市職員対象      | : R6. 10. 28 | 16名参加(流域治水勉強会)  |
| 曾於市職員対象      | : R6. 10. 28 | 7名参加(流域治水勉強会)   |
- (説明資料構成)
- ・流域治水に取り組む背景と経緯、流域治水関連法
  - ・自治体が主体的に取り組むための施策やツール（支援制度、水害リスクマップ等）
  - ・具体的な進め方（先行事例紹介等）



- (出席者の主な意見)
- ・国・自治体や河川・農水・下水道・都市計画など各方面からのアプローチが必要であることを知り、大変勉強になった。
  - ・流域治水に関する政策や各種制度、資料を見るだけでは伝わらない取り組むにあたっての感覚的な部分までわかりやすく、大変有意義だった。
  - ・近年よく耳にする「流域治水」について聞くことができ、有意義なものとなった。住民に理解してもらうため、まずは行政が学びを行う必要があると強く感じた。
  - ・流域治水は国県市町村が一体となり取り組まないといけないと改めて認識した。

流域治水の取組内容

# 林野庁 宮崎森林管理署

■河川上流域(国有林)における森林整備・治山対策

**被害をできるだけ防ぐ・減らすための対策**

宮崎森林管理署

- 林野庁においては、山地災害や洪水被害が激甚化している中、これまでも関係機関と連携した流木対策や氾濫河川上流域を対象とした森林整備・治山対策に取り組んでいるところ。
- 今後、地球温暖化の影響に伴い、気候変動が一層激化することが見込まれる中、森林の有する土砂流出防止や水源涵養機能等の適切な発揮に向け、流域治水の取組とも連携し治山対策等を推進。

治山ダムによる溪床勾配安定



山腹崩壊地の復旧



適正な森林整備(保育間伐)



森林整備を行うための林道開設



令和7年度
国有林内における森林整備・治山対策
植栽 171 ha
下刈 445 ha
除伐 81 ha
保育間伐 558 ha
林道開設 220 m
谷止工 1 基
山腹工 2 箇所

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林整備・保全事業 治山事業	森林整備(林道の開設、間伐等) 治山事業(治山ダム、山腹工等)	林野庁 宮崎森林管理署			

流域治水の取組内容

# 林野庁 西都児湯森林管理署

■河川上流域(国有林)における森林整備・治山対策

# 小丸川水系流域治山プロジェクト【個別対策資料】

～度重なる台風被害が発生した小丸川における防災・減災対策～

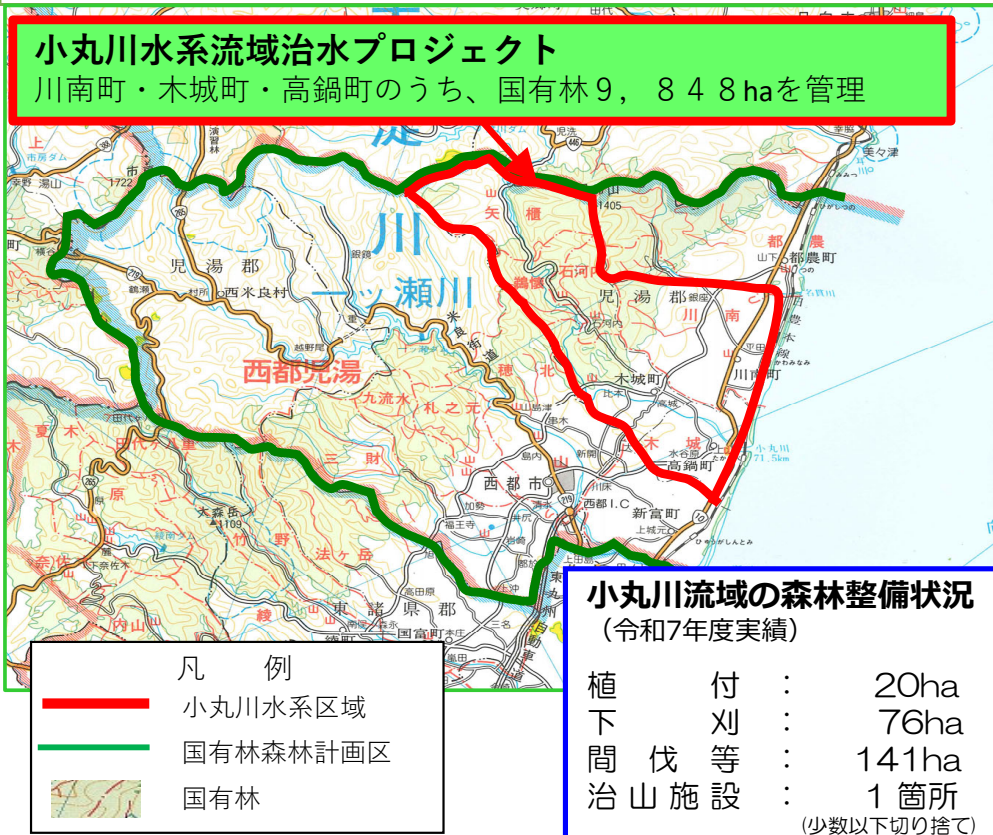
更新

## 河川上流域(国有林)における森林の整備・保全、治山施設等の整備 (林野庁 西都児湯森林管理署)

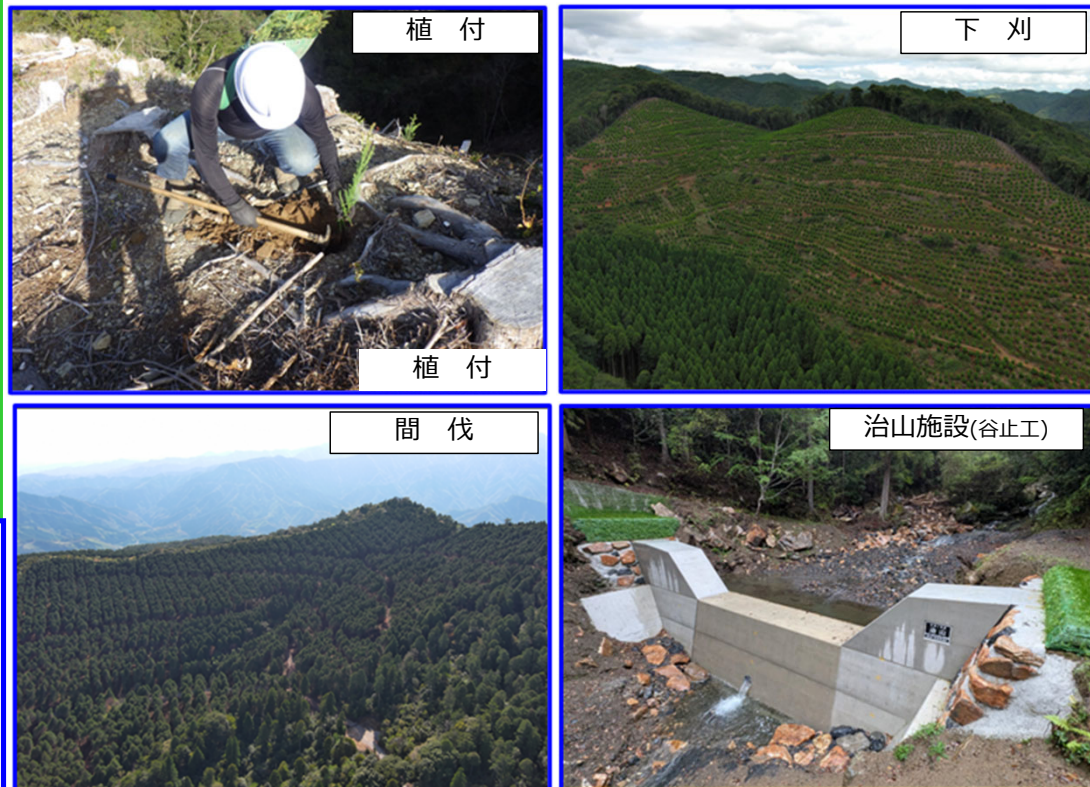
- 林野庁においては、山地災害や洪水被害が激甚化している中、これまでも関係機関と連携した流木対策や氾濫河川上流域を対象とした森林整備・治山対策に取り組んでいるところ。
- 今後、地球温暖化の影響に伴い、気候変動が一層激化することが見込まれる中、森林の有する土砂流出防止や水源涵養機能等の適切な発揮に向け、流域治水の取組とも連携し治山対策等を推進。  
管内一ツ瀬川水系に係る国有林においても、豪雨等に伴う土砂や倒木等の流出抑制や保水機能の維持を図るなど、計画的な森林の保全・整備を進めているところ。

### 小丸川水系流域治水プロジェクト

川南町・木城町・高鍋町のうち、国有林9,848haを管理



### 【森林の保全・整備の実施状況】



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林の整備・保全 治山施設の整備	森林の整備・保全、治山施設等の整備	西都児湯森林管理署			

## 流域治水の取組内容

# 宮崎県

### 大淀川水系

- 河川整備(樹木伐採・河道掘削)
- 公園における流出抑制対策(宮崎県総合文化公園)
- 河川上流域(民有林)における森林整備・治山対策
- 農業用ため池の整備
- いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進

### 小丸川水系

- 河川上流域(民有林)における森林整備・治山対策
- 土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化

河川整備(樹木伐採・河道掘削)【宮崎県の事例】

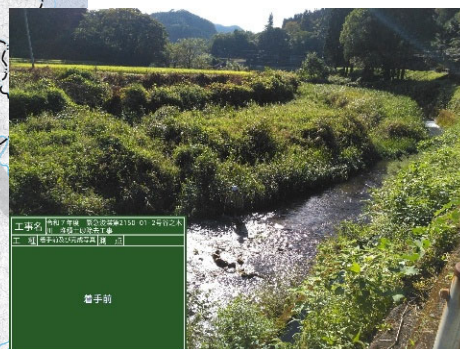
- 土砂堆積等による流下阻害で洪水氾濫が生じないように、樹木伐採や河道掘削を実施している。
- 次年度以降も、他の河川も含め5か年加速化対策において引き続き実施していく。

大淀川水系中流域：R8年度実施予定箇所

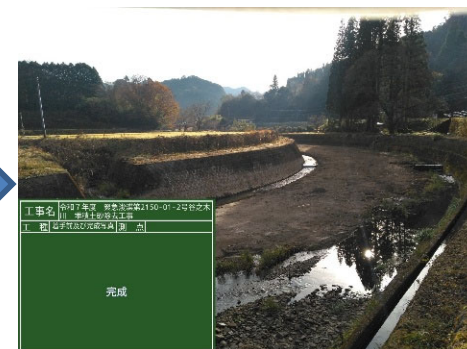
【凡例】

- :R7実施箇所
- :R8予定箇所

谷の木川【実施前】



谷の木川【実施後】



対象河川	市町	地区名等
石瀬戸川	小林市	野尻町東麓地区
高崎川	高原町	蒲牟田地区
炭床川	高原町	後川内地区

R7年度実績	
実施河川	3河川
事業費	約27百万円
樹木伐採	0㎡
河道掘削	約0.2万㎡

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	樹木伐採・河道掘削	宮崎県	▶		

公園における流出抑制対策(宮崎県総合文化公園)【宮崎県の事例】

- 県総合文化公園の芝生広場は、小松川流域における浸水被害の軽減対策として、調整池の機能を有している。
- 洪水時に公園で雨水を貯めて河川にゆっくり流れていくようにすることで、河川の水位低下を図る。

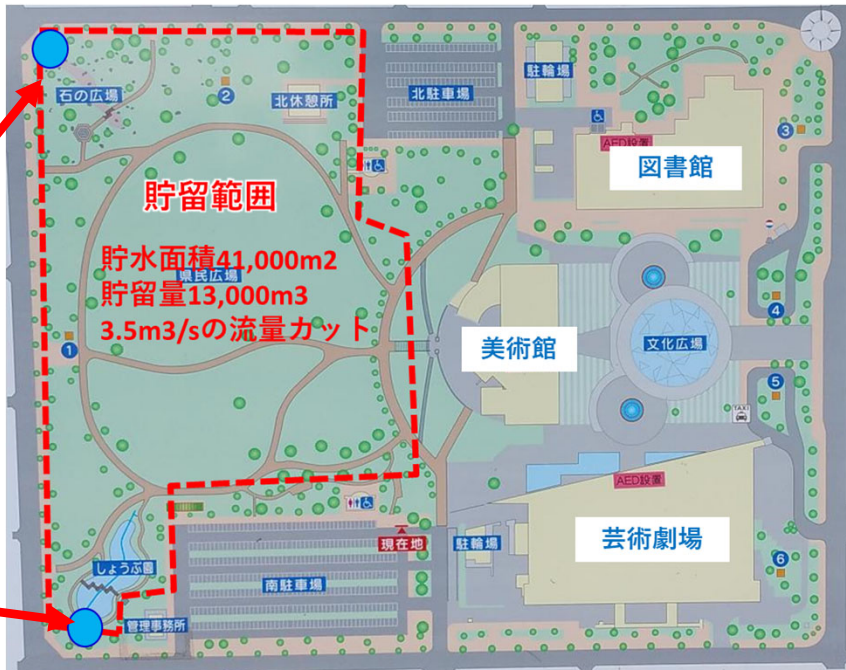


県総合文化公園

断面図

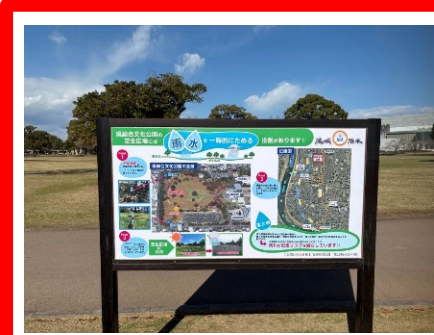


芝生広場は周辺より低く整地されている



大雨時に貯留

追加



雨水貯留の機能を県民にPRするため、公園敷地内の掲示板に取組紹介のパネルを掲示。



排水口①



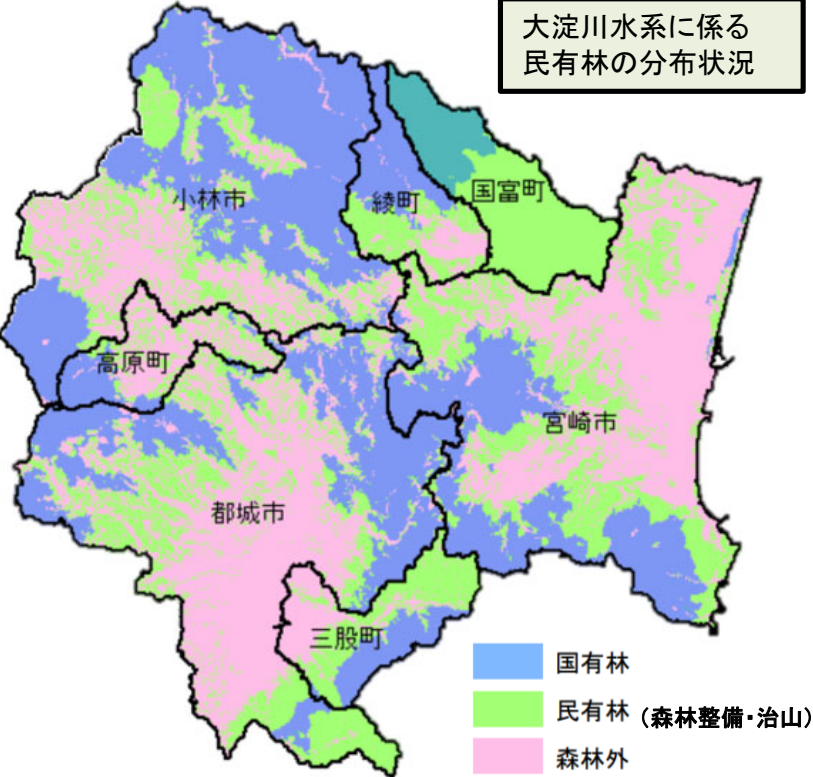
排水口②

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	公園における流出抑制対策	宮崎県			

河川上流域(民有林)における防災・保水機能を発揮させる森林整備・治山対策【宮崎県の事例】

【事業名】 森林整備事業・治山事業    【取組状況】 再造林、保育(下刈り、間伐等)、治山ダム、山腹工等

大淀川水系に係る民有林の分布状況



【大淀川流域の森林の状況】

(宮崎市、国富町、綾町、都城市、三股町、小林市、高原町)  
 森林面積: 140, 039ha  
 国有林: 78, 553ha  
 民有林: 61, 486ha

【大淀川流域の森林整備の実施状況】

(令和6年度)  
 再造林: 509ha    治山施工  
 下刈り: 2, 177ha    6箇所  
 除間伐: 213ha

【流域治水への事業効果等】

(保水機能効果)  
 荒廃した人工林を間伐することにより、土壌の孔隙量が増え、保水機能が向上する。  
 (防災・減災効果)  
 間伐等の適切な森林整備により、下層植生が繁茂し、降雨に伴う土砂流出を抑制するほか、流木の流出等による被害を防止する。  
 伐採後の速やかな再造林により、裸地化による水土保持機能の低下を防止する。  
 治山ダムや山腹工により土砂や流木等の流出を防止するとともに保安林の整備により、森林の水源涵養機能や洪水緩和機能等を発揮させる。



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林整備事業 治山事業	森林整備(再造林、下刈り、間伐等) 治山事業(治山ダム、山腹工等)	宮崎県			

農業用ため池の整備

○流域の防災・減災対策のため、農業用ため池の整備を進める。

貯留機能の向上を図るため、農業用ため池の改修工事を実施

農業用ため池整備 靱木池地区

令和7年度実績	
地区名	事業費
靱木池地区	198,280千円
加藍尾上・下地区	18,890千円
走山地区	102,060千円
合計	319,230千円

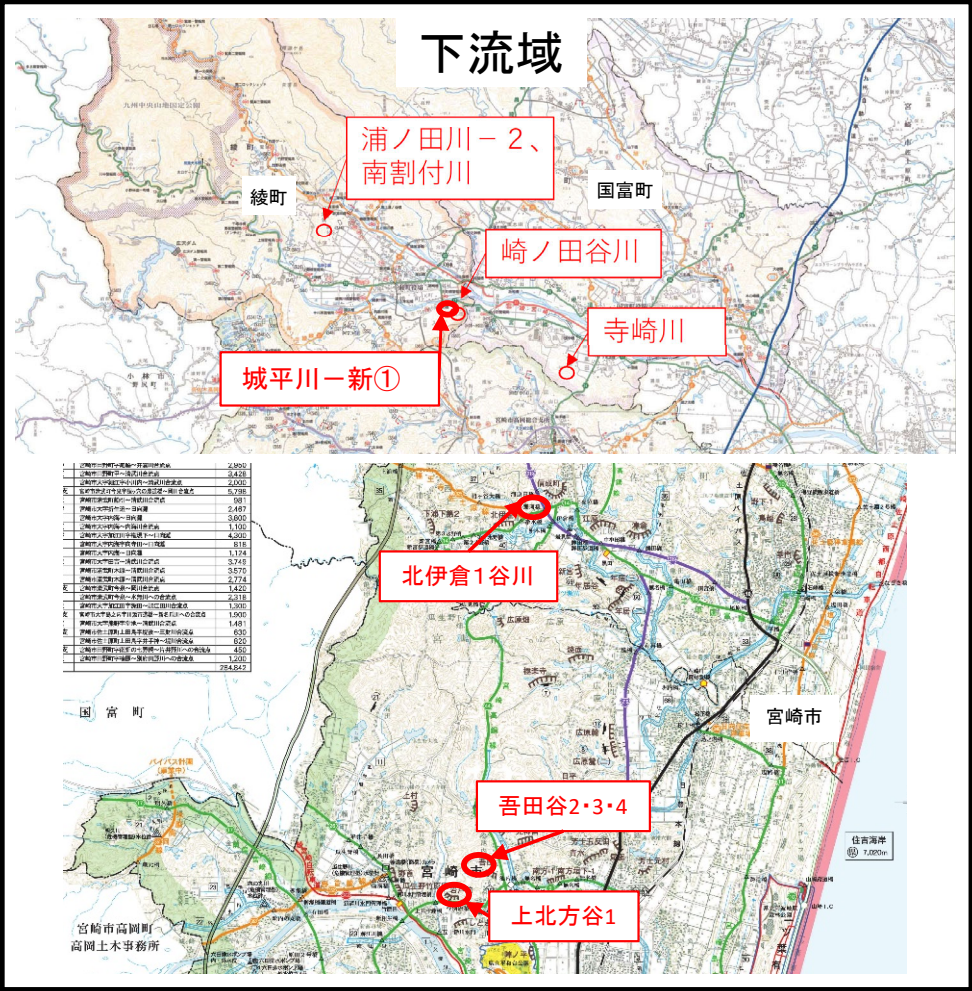
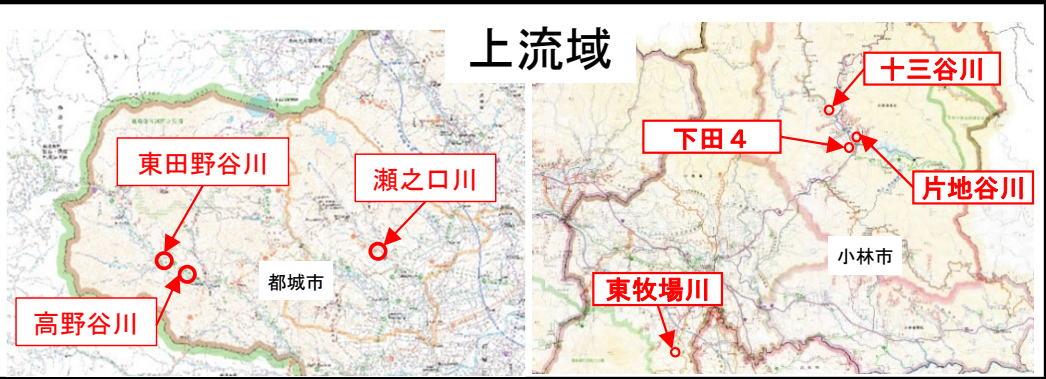


改修工事実施中

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流域の雨水貯留機能の向上	農業用ため池の整備	宮崎県			

いのちと暮らしを守る土砂災害対策の推進【宮崎県の事例】

○土砂や流木の流出による災害から、人命等を守ることを目的として、人家等の上流に砂防堰堤を整備する。

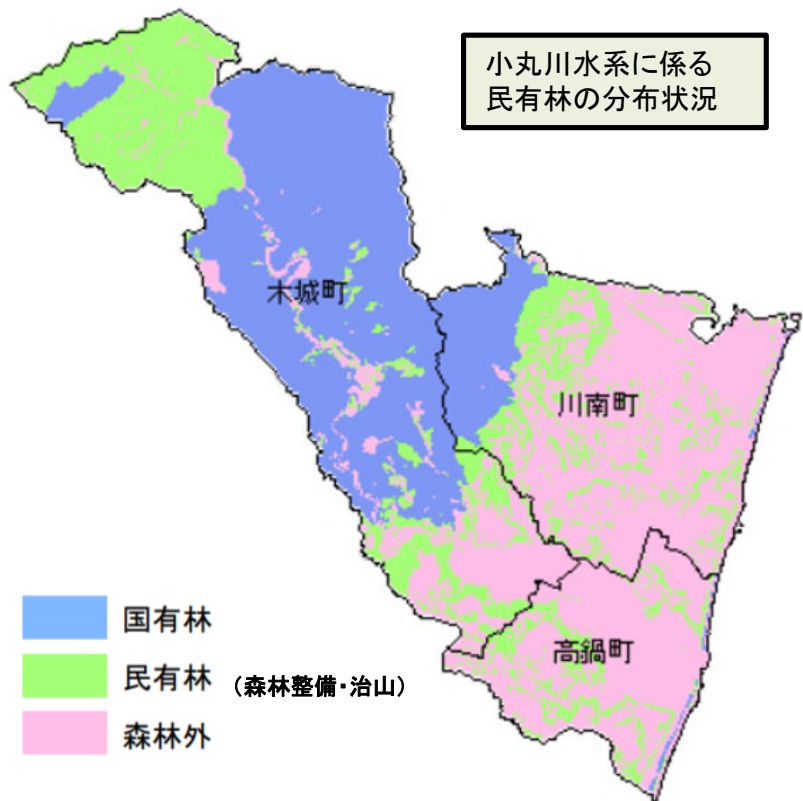


実施箇所：高野谷川他13溪流

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂流出抑制対策	砂防堰堤の整備	宮崎県			

河川上流域(民有林)における防災・保水機能を発揮させる森林整備・治山対策【宮崎県の事例】

【事業名】 森林整備事業・治山事業      【取組状況】 再造林、保育(下刈り、間伐等)、治山ダム、山腹工等



小丸川水系に係る民有林の分布状況



**【小丸川流域の森林の状況】**  
 (高鍋町、木城町、川南町)  
 森林面積: 16,110ha  
 国有林: 9,771ha  
 民有林: 6,339ha

**【小丸川流域の森林整備の実施状況】**  
 (令和6年度)  
 再造林: 28ha      治山施工: 1箇所  
 下刈り: 147ha  
 除間伐: 10ha



**【流域治水への事業効果等】**  
 (保水機能効果)  
 荒廃した人工林を間伐することにより、土壌の孔隙量が増え、保水機能が向上する。  
 (防災・減災効果)  
 間伐等の適切な森林整備により、下層植生が繁茂し、降雨に伴う土砂流出を抑制するほか、流木の流出等による被害を防止する。  
 伐採後の速やかな再造林により、裸地化による水土保持機能の低下を防止する。  
 治山ダムや山腹工により土砂や流木等の流出を防止するとともに保安林の整備により、森林の水源涵養機能や洪水緩和機能等を発揮させる。



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林整備事業 治山事業	森林整備(再造林、下刈り、間伐等) 治山事業(治山ダム、山腹工等)	宮崎県			



流域治水の取組内容

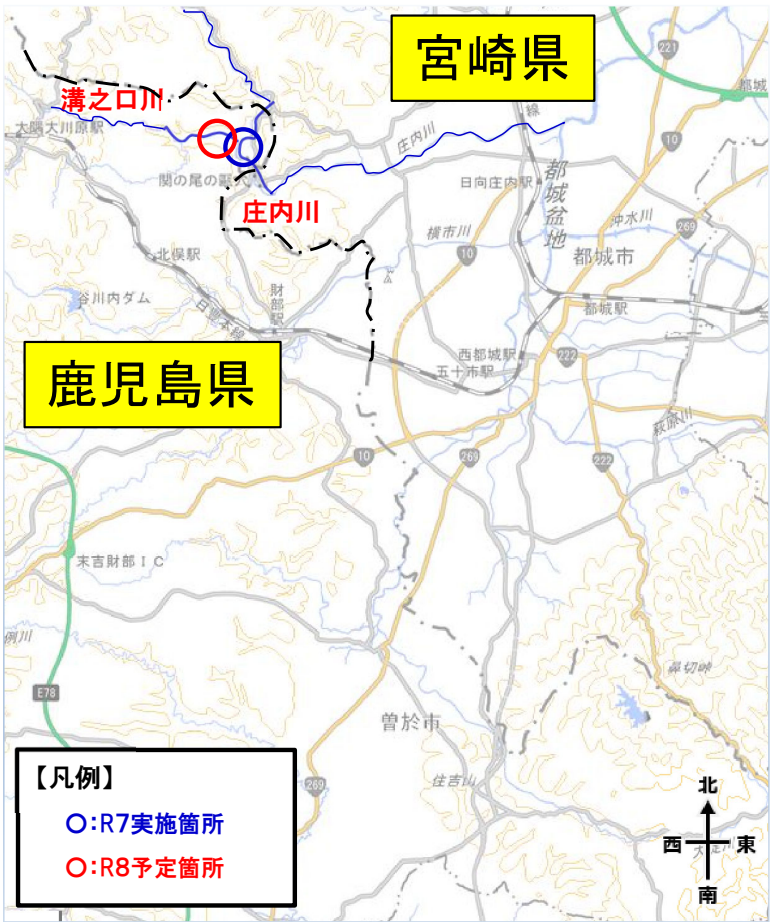
# 鹿児島県

■河川整備(築堤・護岸整備・河道掘削)

## 河川整備(築堤・護岸整備・河道掘削)【鹿児島県】

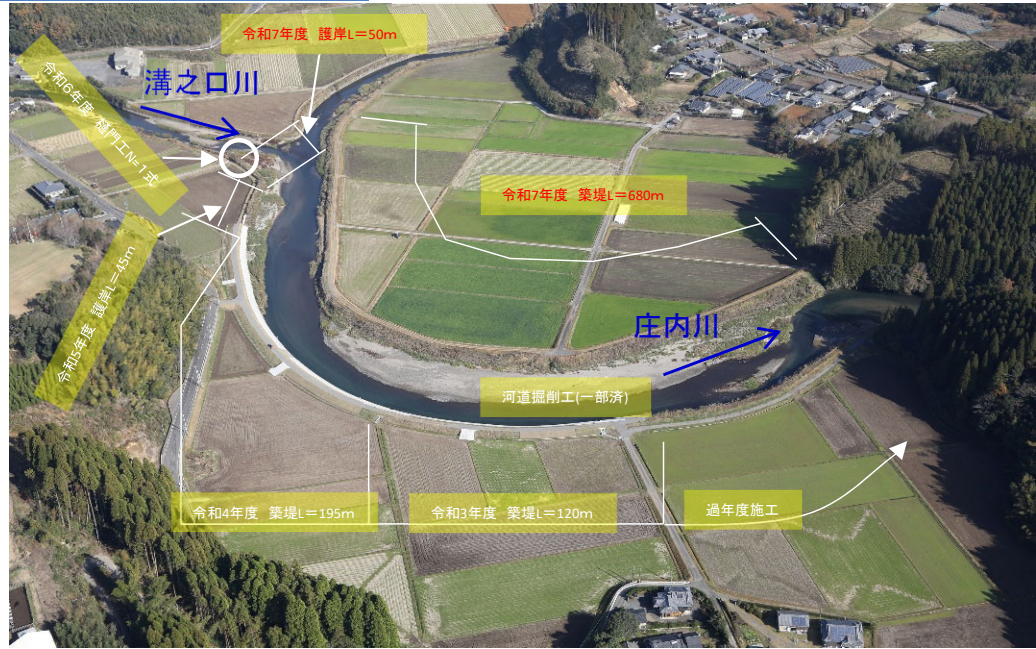
○平成22年の浸水被害で河川改修に着手し、洪水氾濫が生じないように、築堤・護岸及び河道掘削を実施している。

### 大淀川水系上流域：実施・予定箇所



### 庄内川・溝之口川

**実施中**



対象河川	市町	地区名等
庄内川	都城	関之尾町地区
庄内川	曾於	中谷地区
溝之口川	曾於	中谷地区

R7年度実績	
実施河川	庄内川
事業費	約12千万円
護岸工	50m
築堤工	680m

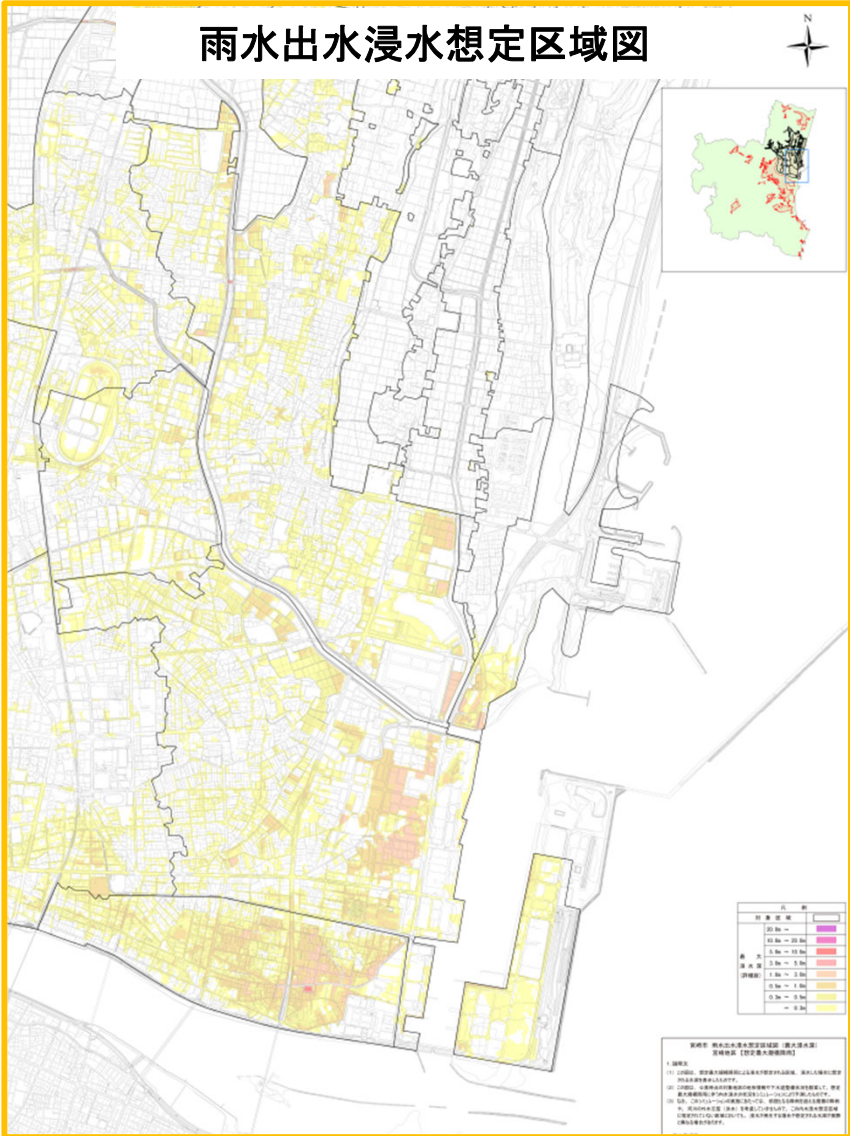
区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	築堤護岸・河道掘削	鹿児島県			

## 流域治水の取組内容

# 宮崎市

- 内水ハザードマップ作成を踏まえた雨水出水浸水想定区域図の作成

## 内水ハザードマップ作成を踏まえた雨水出水浸水想定区域図の作成【宮崎市】



**内水ハザードマップとは**  
 下水道の排水能力を超えた大雨や川の増水で配水できない場合に浸水※が想定される区域や浸水する深さなどのさまざまな情報をまとめたマップ。  
 ※内水氾濫 ⇄ 河川氾濫等の外水が要因⇒洪水ハザードマップ

**【令和7年度の取り組み状況】**  
**雨水出水浸水想定区域図の作成**  
 想定最大規模降雨での内水氾濫におけるシミュレーションを実施し、雨水出水浸水想定区域図を作成。

**【令和8年度の取り組み】**  
**内水ハザードマップの作成**  
 雨水出水浸水想定区域図を基に、危機管理課等の関係部局と連携し、避難場所等の情報を反映させた内水ハザードマップの作成を行う。

**内水ハザードマップの公表・活用における課題**  
 内水ハザードマップの公表・活用にあたっては、洪水ハザードマップとの違いを踏まえ住民にわかりやすい情報提供を行っていく必要がある。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策内容	水害リスク情報の提供	雨水出水浸水想定区域図の作成	宮崎市	▶		

## 流域治水の取組内容

# 都城市

### ①内水被害軽減対策

- ① 雨水バイパス管整備
- ② 可搬式ポンプ設置

### ②流出抑制対策

- ① 雨水貯留タンク設置補助制度創設
- ② ため池事前放流や田んぼダム推進
- ③ 雨水浸透施設の設置推進

### ③その他対策

- ① 雨水出水浸水想定区域の指定
- ② 立地適正化計画の見直し
- ③ 浸水センサーによる浸水情報把握

## 大淀川流域における流出抑制対策と内水被害軽減対策【都城市の事例】

### ①内水被害軽減対策

- ① 雨水バイパス管整備
- ② 可搬式ポンプ設置

### ②流出抑制対策

- ① 雨水貯留タンク設置補助制度創設
- ② ため池事前放流や田んぼダム推進
- ③ 雨水浸透施設の設置推進

### ③その他対策

- ① 雨水出水浸水想定区域の指定
- ② 立地適正化計画の見直し
- ③ 浸水センサーによる浸水情報把握

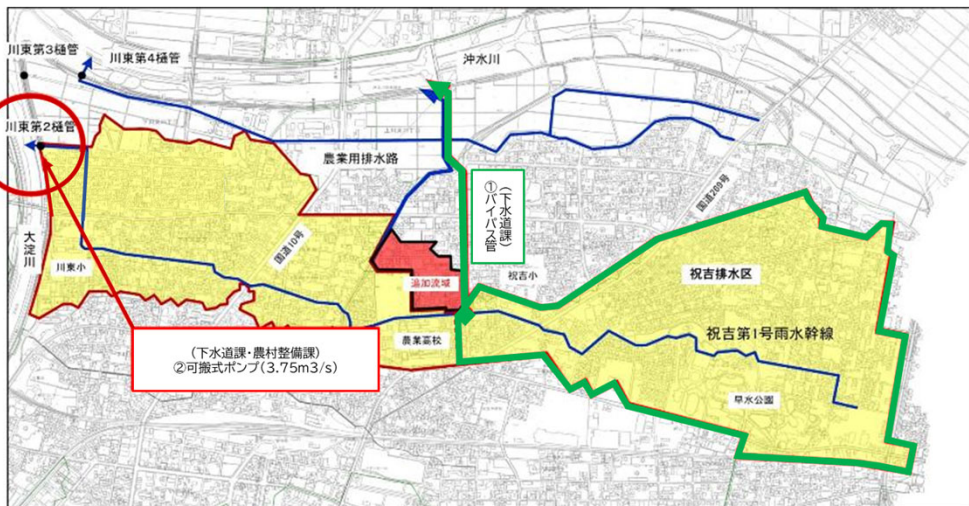
# 1 内水被害軽減対策

更新

## 1 雨水バイパス管整備

● 雨水対策施設を整備することで床上浸水解消を図る

- ・ 祝吉地区において、沖水川へのバイパス管工事（約1.2km）の整備に向け、河川管理者と占用協議を実施



更新

## 2 可搬式ポンプ設置

● 雨水対策施設を整備することで床上浸水解消を図る

- ・ 令和6年度に金田地区と宮丸地区に可搬式ポンプ各2台を設置し、運用を開始
- ・ 令和7年度から下川東地区と高城町石山地区に可搬式ポンプ各5台を設置し、令和8年から運用予定



設置地区	可搬式ポンプ 規格×台数	担当課
金田地区	0.75m3×2台	維持管理課
宮丸地区	0.75m3×2台	下水道課
下川東地区	0.75m3×5台	下水道課 農村整備課
高城町石山地区	0.75m3×5台	高城産業建設課

## ② 流出抑制対策

更新

### ① 雨水貯留タンク設置補助制度創設

#### ● あらゆる関係者が取り組む流域治水対策

- ・ 一般家庭で雨水をタンクに溜めて再利用
- ・ 雨水貯留タンク設置費の2分の1、上限5万円の補助
- ・ 設置実績は、令和6年度 98基  
令和7年度 42基

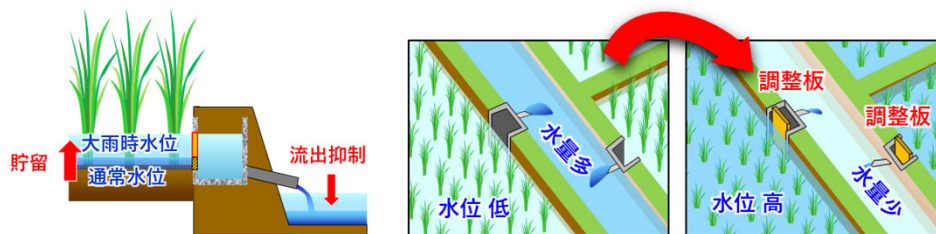


更新

### ② ため池事前放流や田んぼダム推進

#### ● 雨水を溜める取り組みで、浸水被害の軽減を図る

- ・ 防災重点ため池11箇所とその他1箇所(観音池)の管理者へ事前放流を依頼
- ・ 水利組合等に田んぼダムの目的と効果を説明し、実施に向けた継続的な協力を依頼



田んぼダム

更新

### ③ 雨水浸透施設の設置推進

#### ● 雨水の地中浸透による流出抑制

- ・ 市道の側溝改良において雨水浸透側溝整備を実施
- ・ 民間事業者に対して、小規模な宅地開発においても雨水浸透側溝等の設置を推奨



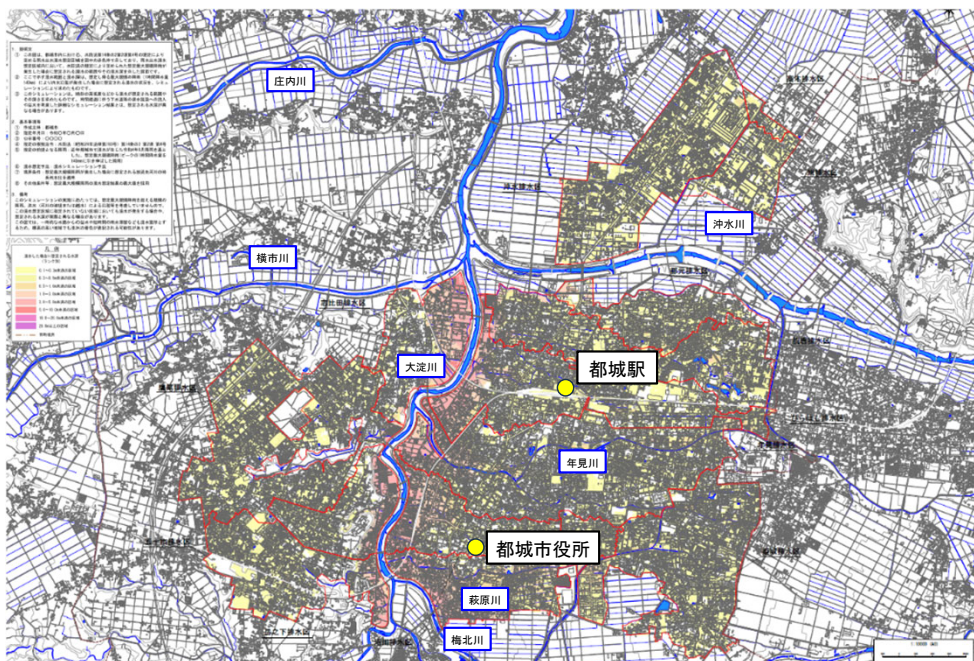
# ③ その他対策

新規

## 1 雨水出水浸水想定区域の指定

● 内水浸水発生時の迅速な避難の確保や浸水防止

- ・ 雨水出水浸水想定区域を令和8年3月に指定及び公表



雨水出水浸水想定区域

新規

## 2 立地適正化計画の見直し

● ハザード情報及び広域連携の観点からの適正な居住誘導

- ・ 令和7年度に公表された県河川及び雨水出水浸水想定区域と現在の居住誘導区域の重複を受けて、居住誘導区域の見直しを検討中

更新

## 3 浸水センサーによる浸水情報把握

● 浸水状況の可視化で、水防団の出動契機や冠水箇所  
の交通規制の円滑化

- ・ 国土交通省の実証実験に参加し、浸水の常襲箇所等  
55箇所にセンサー設置



浸水検知機

## 流域治水の取組内容

# 日向市

- 河道に支障となる草木や堆積土砂等の撤去
- 河川パトロールによる水災害リスク情報の把握

# 小丸川水系流域治水プロジェクト

～水害に強い地域づくりに向けた防災・減災対策～

## 【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】河道に支障となる草木や堆積土砂等の撤去 【日向市建設課】

○河川パトロール等に基づき、草木繁茂や土砂、流木等の堆積により、水害発生の恐れのある箇所について、伐採や土砂等の撤去を実施する。

対象河川

○小丸川水系の普通河川（ツヅラ内谷川ほか5河川）

着手前



完了



※写真は耳川水系内ノ口川



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	河道に支障となる草木の除去	日向市	▶		

# 小丸川水系流域治水プロジェクト

～水害に強い地域づくりに向けた防災・減災対策～

## 【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】河川パトロールによる水災害リスク情報の把握 【日向市建設課】

○普通河川のパトロールについては、水災害によるリスクの軽減を図り、情報を把握するため、年1回の通常点検、異常気象時や全国的な課題や国・県からの指導等に応じて実施する緊急点検を行っていく。

### 1. 点検方法

#### (1)通常点検

○普通河川を、災害発生頻度や後背地の状況をもとに、A（重要）、B（準重要）、C（その他）に分類し、下記の内容で点検を実施している。

普通河川点検内容一覧

ランク	本数	延長 (km)	点検方法	
			頻度	時期
A(重要)	43	71.9	年1回	出水期前（5月下旬～6月上旬）
B(準重要)	40	50.8	年1回	台風接近時期前（6月～8月）
C(その他)	38	66.2	年1回	年間を通じて（9月～3月）
計	121	188.9		



▲点検状況（小丸川水系ツヅラ内谷川）

#### (2)緊急点検

- 市道の異常気象時の緊急点検の際に、沿線の河川の状況を確認。
- 地元住民や関係者からの連絡をもとに点検を実施。

### 2. 対象河川

○小丸川水系の普通河川（ツヅラ内谷川ほか5河川）

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災・避難体制の強化	河川パトロール（普通河川）による水災害リスク情報の把握	日向市	▶		

## 流域治水の取組内容

# 高鍋町

- 小丸川宮越地区総合内水対策計画における高鍋町の取組
- 雨水地下貯留施設の事例紹介

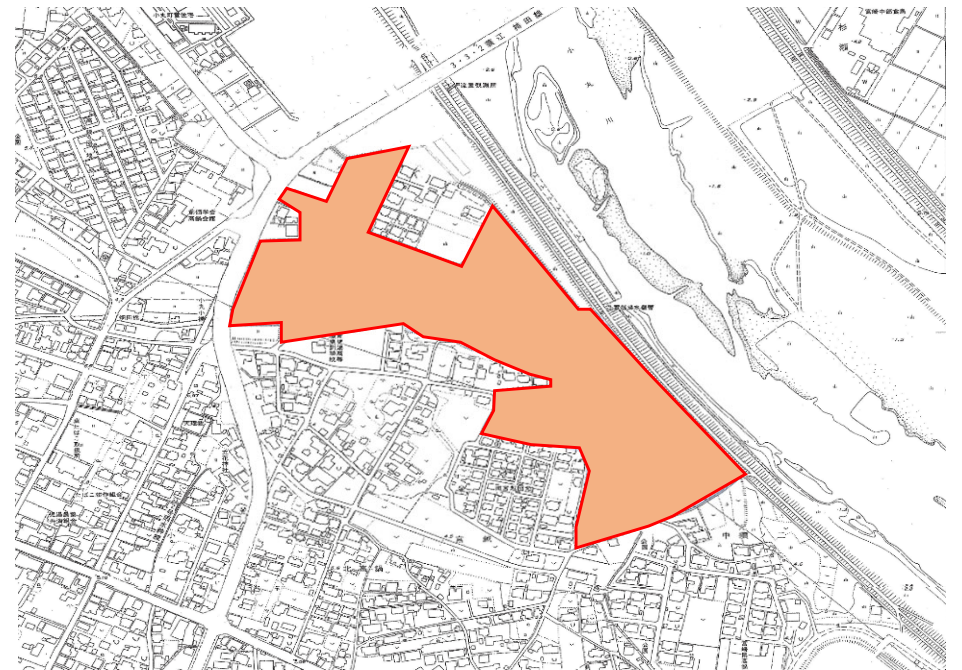
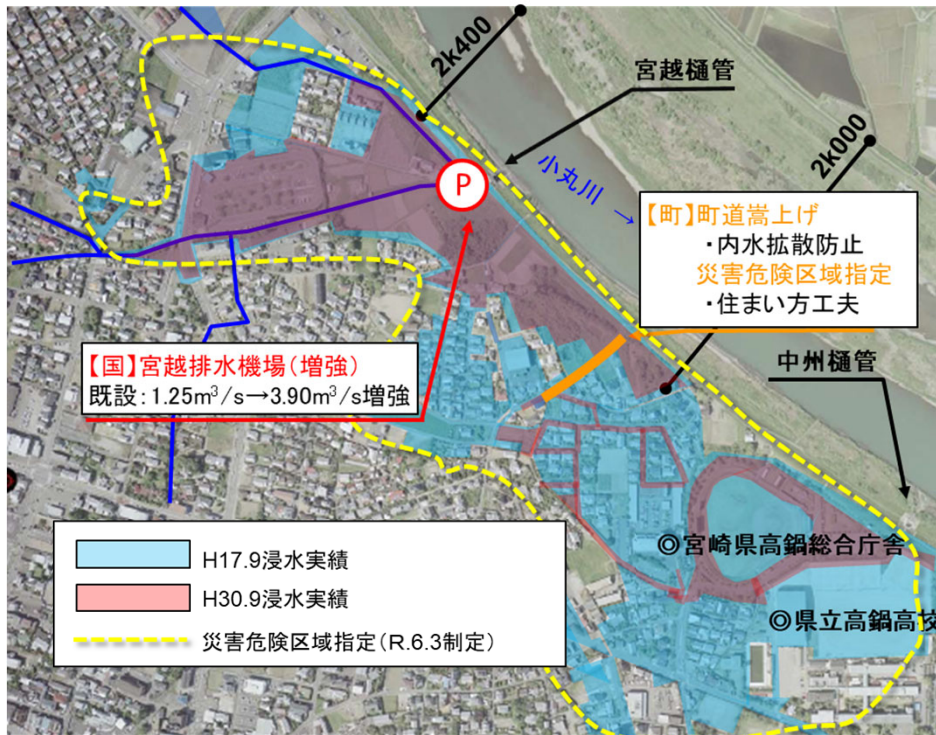
○ これまでに甚大な浸水被害が発生している小丸川下流の宮越地区において、国・県・町が相互に連携して「小丸川宮越地区総合内水対策計画(令和2年3月)」を策定し、ハード・ソフト一体となった浸水被害軽減対策を実施。

## 1 国土交通省による宮越排水機場の整備

- ・排水量3.90m<sup>3</sup>/S
- ・令和4年度暫定運転開始
- ・令和4年11月23日完成式

## 2 災害危険等区域の設定(排水機場付近)

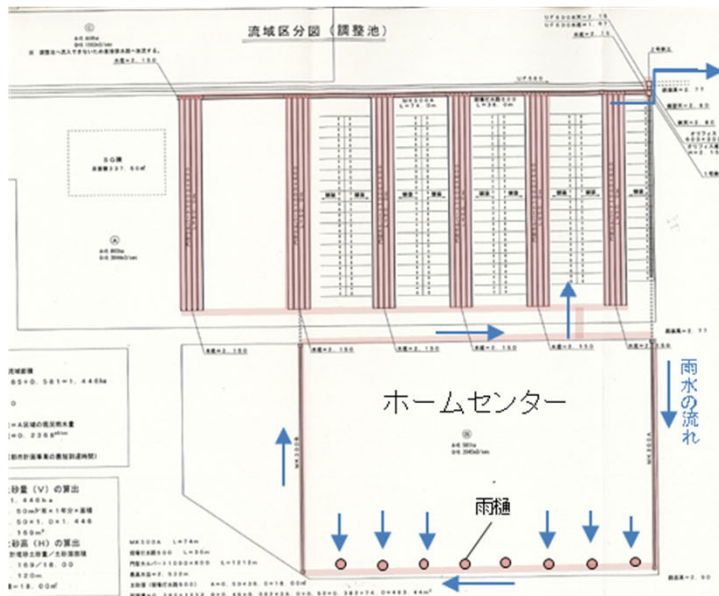
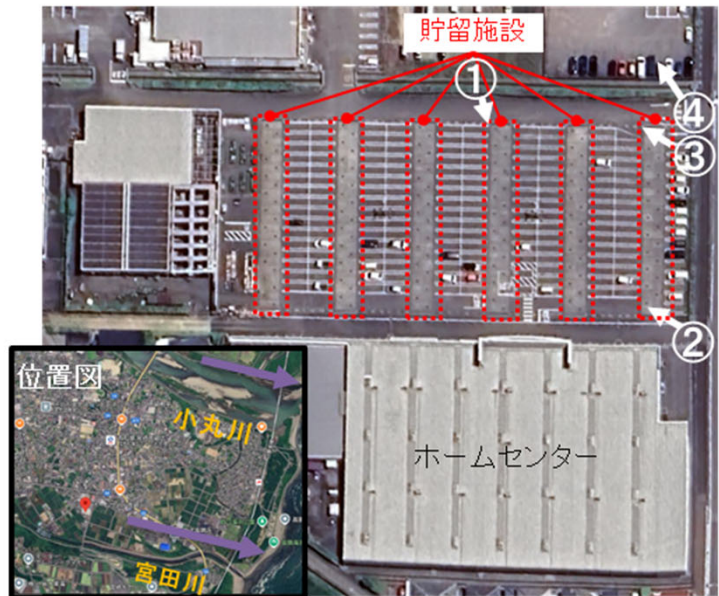
- ・建築基準法39条の規定に基づき、令和5年度に災害危険区域に関する条例を制定
  - (1)高鍋町災害危険区域に関する条例
  - (2)高鍋町災害危険区域に関する条例施行規則
  - (3)高鍋町災害危険区域内における住宅改築等補助事業補助金交付要綱(令和7年度制定)



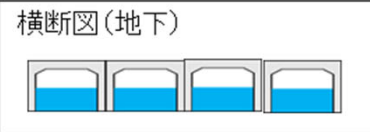
# 流域治水の取り組み ～雨水地下貯留施設～

○ホームワイドが駐車場に雨水枡を設置している。排出は操作せず、排出溝のみで調整をする。

## 駐車場を活用したゆっくり流す取り組み

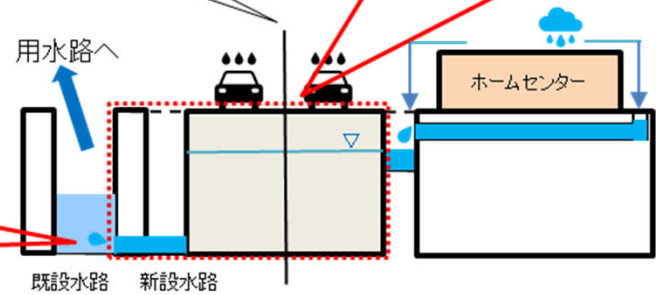


### ～イメージ図(断面図)～



雨水地下貯留施設により、新たに貯めることができるようになった水量  
(MAX貯留量=約483m<sup>3</sup>)

出口を小さくし  
ゆっくり流す



流域治水の取組内容

# 森林整備センター

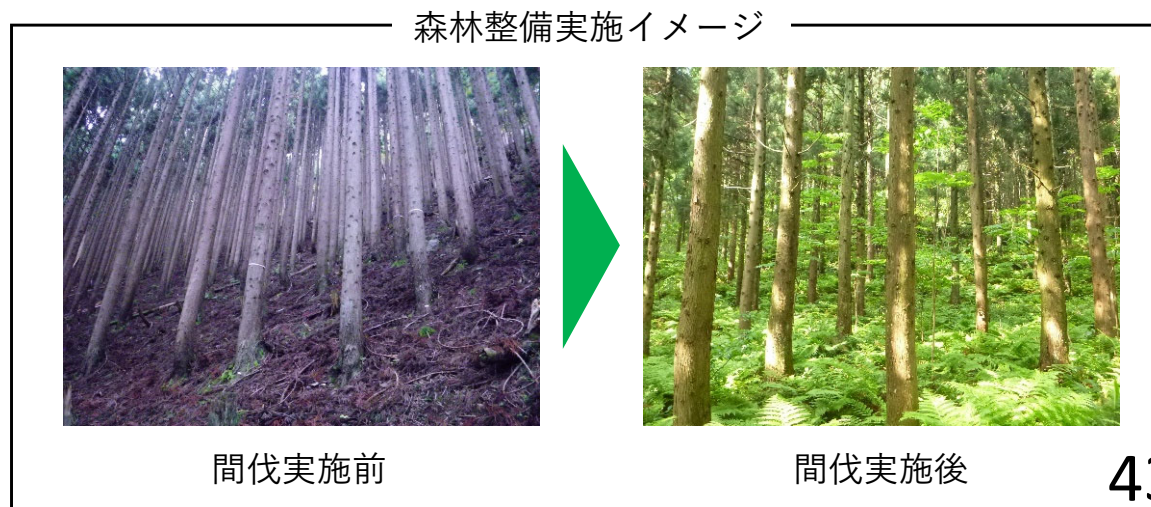
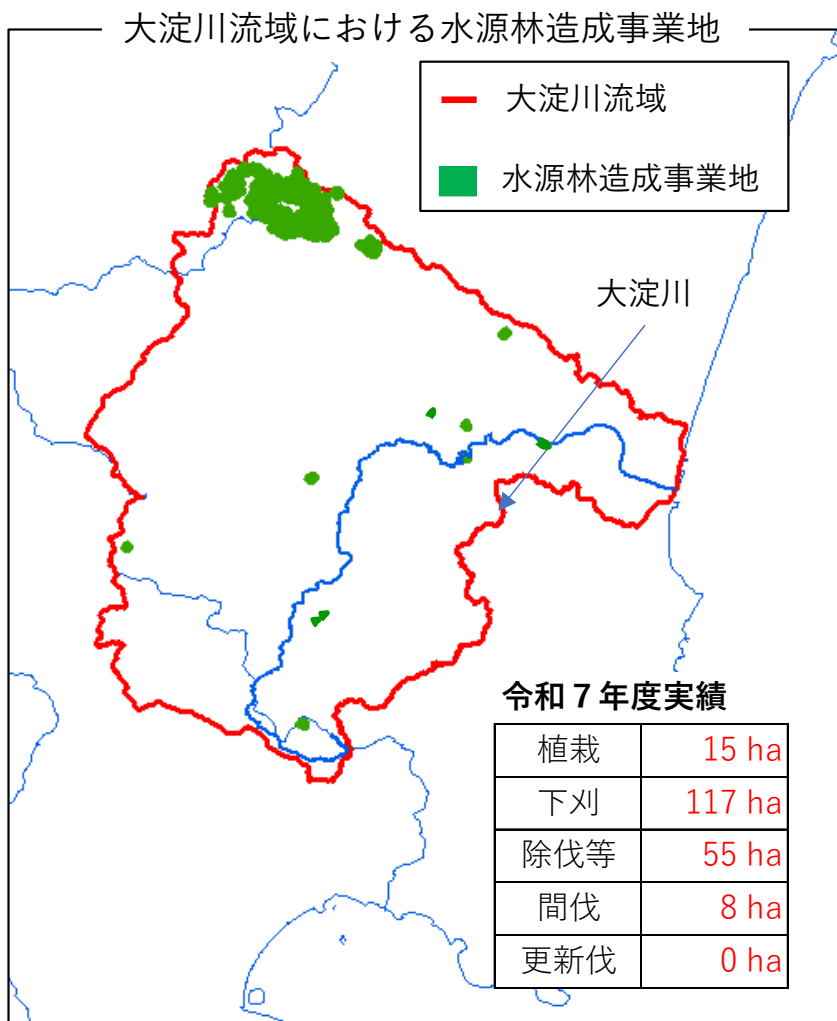
■水源林造成事業による森林の整備・保全

# 大淀川水系流域治水プロジェクト

更新

～水源林造成事業による森林の整備・保全～

- ・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
- ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。
- ・大淀川流域における水源林造成事業地は、**84箇所**（森林面積 約2,300ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。



# 小丸川水系流域治水プロジェクト

更新

～水源林造成事業による森林の整備・保全～

- ・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
- ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。
- ・小丸川流域における水源林造成事業地は、**240**箇所（森林面積 約3,700ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。

